

【財務省政策評価懇談会における意見（全体に通じるもの）】

- 評価については妥当だと考える。コロナの影響の中、特に国税庁のような前線で実務にあたる職員が、モチベーション高く仕事に取り組んでいることに感謝し、そのような状況が続くことを願っている。
- 評価については、コロナという特殊要因を加味しても概ね適正であると判断する。
- デジタル化の更なる推進が今後の大きなテーマとなる。今回の評価にも、デジタル化されていれば違った結果となりうる部分が散見される。財務省・国税庁が率先垂範して進めていただきたい。
- 国税庁の実績評価は、国民に対する説明責任という観点では、非常に価値があり、その内容も素晴らしいものであると評価している。実績評価の作業の現場の負担も考え、より活用されるようになればよい。